



第14回

陸上・日本選手権

※2023年6月の毎日新聞記事を元にした文章です。

校閲し、直すべきところを指摘してください。

◇陸上・日本選手権、男子10

0分決勝（6月4日、大阪・ヤン

マースタジアム長居）

▽サニブラウン・ハキーム（タ

ンブルウィードTC）118位（10

秒26）

決勝でスタートから明らかに出

遅れた姿に、誰もがサニブラウン

のアクシデントを疑った。202

2年世界選手権（米オレゴン州）

のファイナリストは「左脚がつっ

た」のだという。世界選手権と同

様、2日で計3本をこなすレース。

改めてコンディショニング調整の

難しさを思い知った。

準決勝は流したようにフィニッ

シュしたように見えたが、実はこ

の時点で脚に違和感があった。決

勝は「セット（の段階）でガッと

つった」。少しばたつきながら走

り出し、中盤から完全に失速した。

前回大会以来、1年ぶりとなる

国内のレース。オレゴンでオリ

ピックを含め90年ぶりとなる決勝

進出を果たし「ここからが本当の

スタート」と、世界の頂点に向け

ての決意を新たにしたシーズンだ。

活動拠点の米国で4月にレースを

こなし、今大会は開幕前日の5月

30日に帰国したばかり。強硬軍的

なスケジュールの中で「練習を結

構やっていたからかな」。体は知

らず知らず、悲鳴を上げていた。

救いだったのは、レース後に努

めて明るく振る舞っていたことだ。

まだ突破していない23年世界選手

権（ブダペスト）の派遣設定記録

（10秒00）に向け「日々の生活か

り見直してごきます。「笑って振り返れる日は、きっと来る。」